

重要研究開発プログラムで対象とする技術の詳細及び目標とする成果達成時期

【対象とする技術の一覧】

重点研究開発目標技術	公募する研究課題のテーマ
消 防 防 災 活 動 に お け る Society5.0 の 実 現 に 資 す る 新 た な 装 備 ・ 資 機 材 等 の 開 発 ・ 改 良	先端 I C T に 加 え、総 合 的 な 発 想 に よ る 新 た な 装 備 ・ 資 機 材 や 情 報 シ ス テ ム 等 の 開 発 ・ 改 良

※各テーマについて示す目標時期までに、所要の成果達成が見込める研究開発課題を募集します。詳細については次ページ以降を参照ください。

(分野名) ※消防分野	
(テーマ名) 先端 I C Tに加え、総合的な発想による新たな装備・資機材や情報システム等の開発・改良	
背景等	<p>◆科学技術・イノベーション基本計画（令和3年3月26日閣議決定）</p> <p>P.12 第1章 基本的な考え方</p> <p>3. Society 5.0 という未来社会の実現</p> <p>(1) 我が国が目指す社会（Society 5.0） （略）</p> <p>特に気候変動を一因とする甚大な気象災害やパンデミックの発生などの差し迫った脅威の克服や、（略）は、我が国にとって喫緊の課題であり、また、I C Tの浸透により、新たな価値として人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させるDXの推進は、個々のニーズにかなったソリューションを提供する可能性を広げている。（略）</p> <p>このような背景を踏まえて、我が国が目指す社会を表現すると、「直面する脅威や先の見えない不確実な状況に対し、持続可能性と強靭性を備え、<u>国民の安全と安心を確保するとともに、一人ひとりが多様な幸せ（wellbeing）を実現できる社会</u>」とまとめられ、このような未来社会を実現することこそが第6期基本計画を策定する目的である。これは、<u>SDG s</u>とも軌を一にするものである。</p> <p>P.30 第2章 Society 5.0 の実現に向けた科学技術・イノベーション政策</p> <p>1. 国民の安全と安心を確保する持続可能で強靭な社会への変革</p> <p>(3) レジリエントで安全・安心な社会の構築</p> <p>(b) あるべき姿とその実現に向けた方向性</p> <p>頻発化・激甚化する自然災害に対し、先端 I C Tに加え、人文・社会科学の知見も活用した総合的な防災力の発揮により、適切な避難行動等による逃げ遅れ被害の最小化、市民生活や経済の早期の復旧・復興が図られるレジリエントな社会を構築する。（略）</p> <p>【研究開発課題の例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○大規模災害への対応に資する資機材開発及びリスク把握に資する研究開発 ○避難に関する情報の提供及び判断に資する研究開発 ○パンデミックを踏まえた資機材開発や、救急需要の分析及び効果的な運用に資する研究開発 ○石油コンビナート災害対応を最適化するための資機材・システムに関する研究開発 ○消防業務の効率化に資する研究開発
必要とする成果内容と目標期限	<p>【令和4年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・試作機器や試作システムの開発及び機能確認 <p>【令和5年度～】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実用化に向けた実証試験・社会実装化の推進
成果活用方針	<ul style="list-style-type: none"> ・消防機関の装備に係るガイドライン等の策定 ・消防機関に周知

【ロードマップ】

	～R3	～R4	～R5	R6～
消防庁の施策動向		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 新たな装備・資機材等の開発・改良による効果的な消防活動の推進 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> ガイドラインの検討及び策定 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 機器や手法の周知、普及展開 </div>
テーマ設定型研究開発 (重要研究開発プログラム)		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 【令和4年度末】 ・機器や手法を開発するための必要なデータの調査・解析 ・試作機器の開発及び機能確認 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 【令和5年度末】 ・実用化に向けた実証試験 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 【令和6年度～】 ・社会実装化・消防本部等への配備 </div>

※ロードマップは令和4年度消防防災科学技術研究推進制度の公募にあたり、申請者の参考となるよう示すものです。社会ニーズや行政課題の変化に応じて変更する可能性があるものであり、今後の予定を保障するものではありません。